

ワークショップの実施結果概要①

■ワークショップについて

第5次広陵町総合計画中期基本計画の策定に当たって、住民や広陵町自治基本条例第2条に基づく町民である本町に所在する学校に通う生徒・学生から広陵町を魅力あるまち、住んでもらえるようなまちにするにはどうしたらよいかという意見を得るため、ワークショップを開催しました。

■住民ワークショップ（第1回）

開催日時	令和7（2025）年11月29日（土）10:00～12:00
開催場所	広陵町役場 3階 大会議室
参加者数	16名
内 容	<p>ベテラン住民、子育て・若者世代、学生の3チームに分かれてグループワークを実施 （テーマ）</p> <ul style="list-style-type: none">・理想の広陵町像はどのようなものか、理想の広陵町像に向けた課題が基本目標のどこに位置付けられるのか・課題解決のために必要なこと、具体的に取り組むべきこと。
意 見 ・ アイデア	<ul style="list-style-type: none">・ベテラン住民チーム 近鉄大和高田駅・五位堂駅への通学通勤アクセス向上など 箸尾駅近辺への商業施設誘致や雇用を生む企業誘致など・子育て・若者世代チーム 自然体験学習などのイベントの増加や自然保護区域の設定など・学生チーム 住民の需要に応えたイベントの開催、靴下やかぐやちゃんのアピールなど



ワークショップの実施結果概要②

■住民ワークショップ（第2回）

開催日時	令和7（2025）年12月20日（土）10:00～12:00
開催場所	広陵町役場 3階 大会議室
参加者数	21名
内 容	第1回の振り返りや計画反映内容などを事務局から説明した後、くじによるチームの組み替えを行って7名ずつ3チームでグループワークを実施（テーマ） ・第1回で出たアイデアを実現していくために自分（住民）にできること、行政の役割、企業等（事業者その他団体）の役割と具体的な取組
意 見 ・ アイデア	・A班（テーマ：地域の多様な世代が交流するための環境整備やイベントづくり） ○自分（住民）の役割 情報収集をして、積極的にイベント等に参加するとともに、自分自身も情報発信するなど ○行政等の役割 参加のしやすい（足の運びやすい）イベントづくりや情報の集約と伝達など ・B班（テーマ：高い教育ブランドを再生したまちの魅力の向上） ○自分（住民）の役割 ホームステイの受入れや教育ボランティア、将来の目標を持つことなど ○行政等の役割 言語サポートや教育の体制整備、学習の達成度・進捗度を明確化するアプリによる支援 ・C班（テーマ：地域の多様な世代が交流するための環境整備やイベントづくり） ○自分（住民）の役割 自治会のイベントへの主体的な参加・協力や地元のお店での買い物など ○行政等の役割 企業・行政合同での広報活動、イベントでの託児コーナーの設置など



ワークショップの実施結果概要③

■大学生ワークショップ

開催日時	令和 7（2025）年 11 月 7 日（金） 16:20～18:30
開催場所	畿央大学 第 3 会議室
参加者数	7 名
内 容	A 班（3 名）、B 班（4 名）に分かれて、グループワークを実施 （テーマ） ①「魅力的なまち（理想のまち）」とは ②「魅力的なまち（理想のまち）」の実現のために
意 見 ・ アイデア	①道路が広く、安心して移動できるまち、誰もがいきいきと生活できるまちなど ②街灯を増やす、自転車専用レーンの整備、医療機関の誘致など



■高校生ワークショップ

開催日時	令和 7（2025）年 11 月 26 日（水） 17:00～18:00
開催場所	大和広陵高校 教室
参加者数	5 名
内 容	1 班でグループワークを実施 ①「魅力的なまち（理想のまち）」とは ②「魅力的なまち（理想のまち）」の実現のために
意 見 ・ アイデア	①道路がきれいで明るく交通の便が良いまち、治安が良いまちなど ②電車の本数を増やす、道路を広げるなど



ワークショップの実施概要について④

■中学生ワークショップ

開催日時	令和7（2025）年12月19日（金）15:45～17:00
開催場所	広陵中央公民館 2階 大会議室
参加者数	広陵中学校6名、真美ヶ丘中学校7名
内 容	中学校ごとの班でグループワークを実施 （テーマ） ①「広陵町」の自慢できるところは？ ②「自分たちが高校生・大学生・社会人になったときに誇れるまち、自慢し たくなるまちにするためには？」
意 見 ・ アイデア	①公園が多く、自然環境が豊かであること、靴下や金魚すくいのポイなどの特 産品など ②①を維持しつつ、有名なものを増やし、SNS等を活用して町外に向けて 発信するなど

